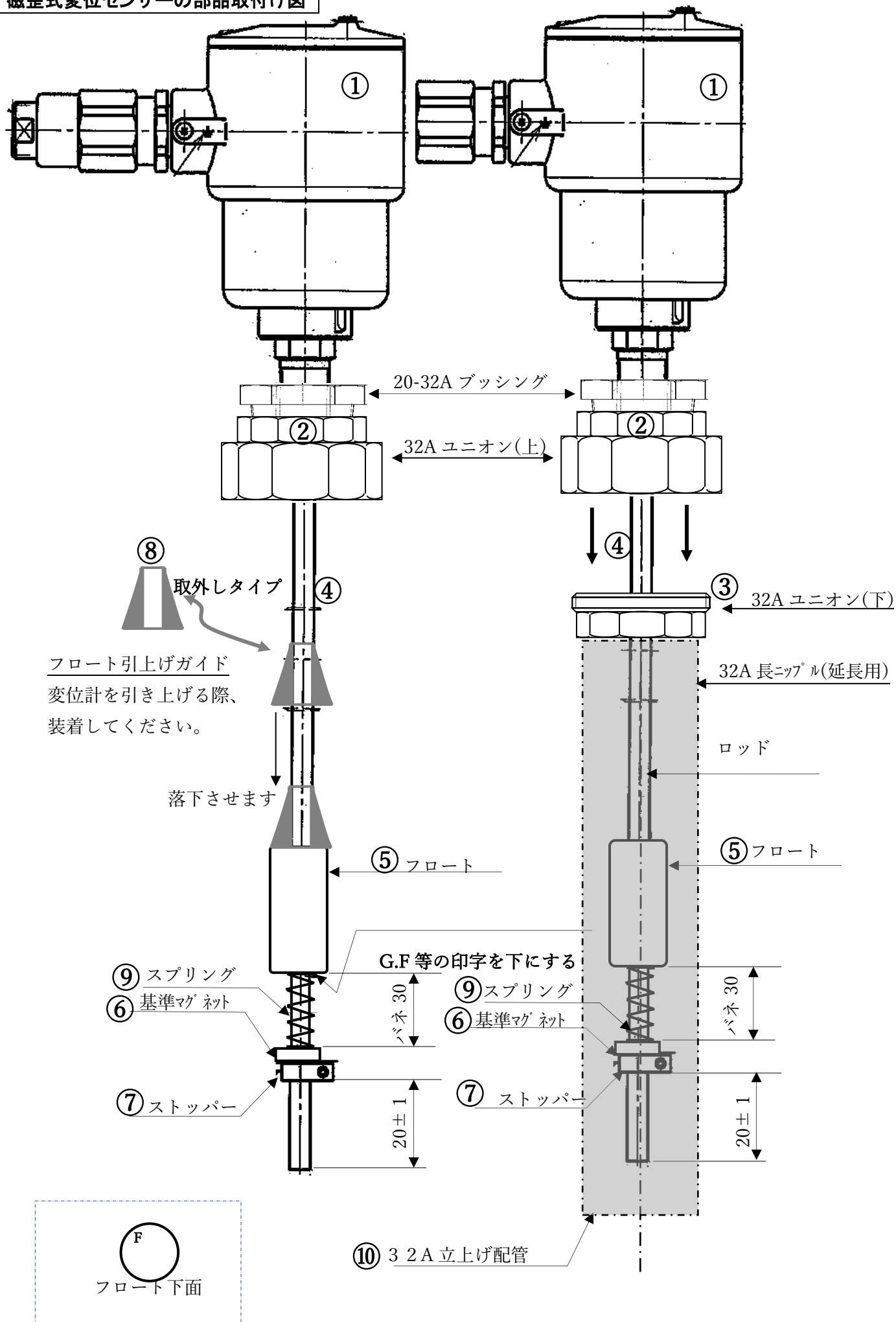


磁歪式変位センサーの部品取付け図



磁歪式変位センサーにおける①～⑩の説明をします。

①センサーヘッド

②継ぎ手配管取付け金具(32A ユニオン上)

③継ぎ手配管取付け金具(32A ユニオン下)

④センサーロッド

フロートがスムーズに動くために、常に真直ぐになっているべきです。

ここを持って取り付けたら曲がります。取付け取外しは必ずヘッドをもって行ってください。

曲がりが大きいと分解能を満足できませんので、注意してください。

曲がりが大きくなった場合は、修正を依頼してください。(有償)

目安は直角から左右に 50mm 以上になったら修正が必要です。

⑤フロート(LLT-2071/2072/2073/2074)

マグネットが内蔵されています。

比重と配管サイズにより使い分けます。

標準の LLT-2070 は比重 0.70 から 0.90 で 32A 以上の配管に入ります

⑥基準マグネット

変位測定の基準点になります。

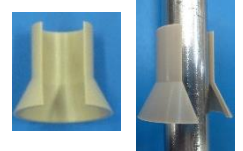
⑦脱落防止ストッパー

基準マグネットの落下防止用です。

⑧フロート引上げガイド(LLT-2150)

引上げ時にセンサー本体をスムーズに引上げるためのガイドです。

ガイドの樹脂に割れ目が入っており、磁歪式変位計を引き上げる時に挿入します。試験中は割れ目を使用して取り外しておきます。



⑨スプリング

フロート落下時の衝撃による破損防止に必要です。

⑩延長配管

小さいタンクに取付けたとき、ロッドがタンク底に当たりセンサーを取り付けられない時に使用してください。標準品ではありません。必要に応じて用意してください。

(参考:32A 1m あるいは 32A 0.5m 等)

使用上の注意

①フロートについて：F,G,W の刻印のある方を下にして取付けてください。

刻印



②ストッパーや基準マグネットは記載された寸法を守って取り付けてください。20mm 以下になるとフロートを検知できなくなり、センサー異常が表示されます。図の中の⑥と⑦の取り付け寸法を参照してください。ロッドを持って取付や取外しを行うと、ロッドが曲がりフロートの動作が悪くなり、既定の分解能を維持できません。センサー本体のタンクへの脱着の際は必ずヘッドを持ってください。

(脚立に乗ってスムーズに挿入する)

③ロッドが曲がった場合は、メーカーに送り曲がり修正を依頼してください。(有償)

下図のように±50mmを参考にしてください。



④もし【変位センサーが接続されていません】が表示されたら！ (フロート破損簡易確認方法)

加速度変換機器のマグネットを磁歪式変位計のロッドに当てた状態で、電源を入れてください。

数値が表示されたらフロートの破損です。新しいフロートをご注文ください。

チャンネル設定してください

0or1 液面 加速度
1 > Error -12.9

変位センサーが接続されていません。または、
変位センサーのフロート位置を確認して下さい

